

横須賀市自然・人文博物館付属

馬堀自然教育園／天神島臨海自然教育園・天神島ビジターセンター

しぜんきょういくな

自然教育園だより

Vol.3 No.2

(2010年夏号)

2010年6月25日発行

横須賀市自然・人文博物館

046-824-3688

▶ 自然教育園での出来事 (2010年3月～2010年5月) ◀

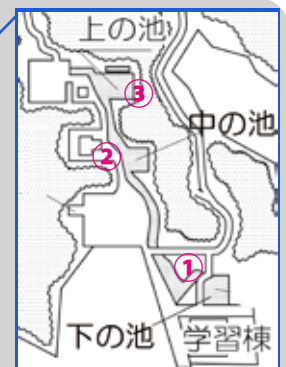
馬堀自然教育園

4月、馬堀自然教育園では、ホタルの発生する水路ぞいの園路を整備しました(下)。



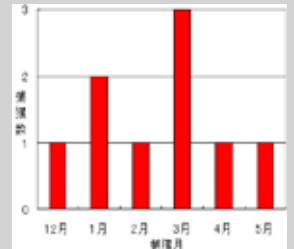
整備した園路 (4/14)

水路にそって緩やかに登る園路は、これまで雨が降るたびにぬかるんで滑りやすくなっていました。そこで、階段状に段差をつけるとともに、ウッドチップを敷き、雨が降ってもぬかるむことがなくなりました(ア)。



アライグマ用トラップの位置 (①～③)

また、ここ数年、園内の生物に対するアライグマ(特定外来生物として本市の駆除対象)の被害が顕著になってきました。そこで、昨年12月からアライグマ用のトラップを3か所仕掛けたところ(右上図①～③)、これまでに9頭のアライグマが捕獲されました(右図)。



アライグマ捕獲数の推移 (作図: 萩原)



アライグマ用トラップ(左)と、かかったアライグマ(右)

- 3月2日 トウキョウサンショウウオの卵のうを 17 腹確認。
- 3月3日 イノデの仲間の葉が開いてきた。フキの花、ヒサカキの雄花が咲いていた。
- 3月5日 ウグイスが鳴いていた。アライグマに襲われたとみられるトウキョウサンショウウオの死体があった(c)。
- 3月6日 イモリが産卵した(c)。
- 3月7日 ウラシマソウの葉が出た。シロハラを見た(f)。
- 3月11日 コゲラが2羽ドラミング(枝や幹をつついて音を立てる)をしていた(f)。
- 3月14日 下の池付近でタチツボスミレが咲き始めた。
- 3月16日 ヤブレガサの葉が出ていた。アケビ、イロハモミジの花、ヒサカキの雌花が咲いていた。エノシマキブシの花が満開だった。イモリが18匹見られた(c)。
- 3月18日 オオバヤシャブシの雄花がたくさん落ちていた。1.5 cm くらいのクワゴマダラヒトリの幼虫がいた。
- 3月23日 オオシマザクラ、ヤマザクラが開花していて、メジロがそれらの花蜜をなめていた。アオキ、セキショ



アライグマに襲われたとみられるトウキョウサンショウウオ (3/5)



タチツボスミレ (4/9)

ウの花が咲いていた。

- 3月27日 ムラサキケマン、ウラシマソウの花が咲いた。モンシロチョウがフキの花にとまっていた。
- 3月30日 今シーズンのトウキョウサンショウウオの産卵が終息した模様で、産卵数は計72腹に達した。
- 4月3日 ホウチャクソウ、セリバヒエンソウが咲いていた。
- 4月6日 ヤマゲワ、ヤブニンジンの花が咲いていた。ヤマネコノメソウの種子ができていた。シロハラがいた(c)。
- 4月11日 メダカが30匹ほどの群れで泳いでいた(a)。コナラ、クヌギ、エノキ、ミツバアケビの花が咲いていた。アオジを見た。
- 4月14日 カキドオシが咲いていた。マテバシイにオオワラジカイガラムシがいた。近くに天敵のベニヘリテントウがいた(a)。
- 4月15日 オオシマザクラの花が散り、葉だけになっていた。
- 4月24日 朝、イカルのさえずりが聞こえた。朝、カワセミのオスが水浴びと羽づくろいをしていた(a)。オニグルミの花が咲いていた。フキの葉の上に体長2 cm くらいの



ヤマネコノメソウ (4/11)



ベニヘリテントウ (4/11)

ナナフシの幼虫がいた (a)。

4月29日 カワトンボを今シーズン初めて確認。マルバウツギが咲いていた。アオキの葉にキバラヘリカメムシがいた (a)。コナラの木にミツバチの群れがいた (d)。



キバラヘリカメムシ (4/29)

5月1日 翅色の違う2匹のカワトンボがいた。エビネが咲き始めた (f)。



クワゴマダラヒトリの幼虫 (5/3)



同種だが翅や体色が違うカワトンボ (5/21)

5月3日 オオルリを確認した。フジの花が満開で、ミズキの花が開花した。キンラン、ギンランが出ていた (f)。クワゴマダラヒトリの幼虫が3cmに成長していた。

5月5日 カワトンボが多数見られた (c)。クロアゲハが飛

んでいた。

5月11日 ミヤマナルコユリ、ハコネウツギが咲いていた。

5月14日 ヤマツツジが咲いていた。

5月21日 ヤブヤンマ成虫が飛翔していた (a)。

ヤマトクロスジヘビトンボが羽化していた (c)。イモリの卵とトウキョウ



アカスジキンカメムシ (5/26)

ウサンショウウオの幼生を確認した (c)。オオヒラタシメムシを見た (d)。ウグイスカグラが赤い実をつけていた。トベラ、タマサンゴ、コナスビが咲いていた。テイカカズラは咲き始め。モンキアゲハが飛んでいた (a)。

5月26日 キアシドクガがゆるやかに飛んでいた (a)。カワセミを確認した (a)。アカスジキンカメムシを見た (b)。

5月27日 エノキの倒木にアラゲキクラゲが出ていた (c)。

5月29日 ツククサ、コモチマンネングサが咲いていた。オオバイボタは咲き始め、テイカカズラは満開。エナガが数羽、鳴きながら梢を渡っていた。

天神島臨海自然教育園

3月11日 調査・清掃のため笠島に上陸。右翼の折れたカモメを確認。不燃ゴミ16.9kg、可燃ゴミ22.0kg、リサイクルゴミ4.5kg、ビン・缶・ペットボトル類9.5kgを回収した。



コクワガタ (3/13)

3月13日 ウラシマソウが多数見られた (h)。朽ち木の中に越冬中のコクワガタがいた。

3月14日 夏羽のコサギ40羽ほどの群れが飛翔していた (d)。アオゲラが飛来した (h)。



オオタカ (3/19)

3月16日 ミツバアケビの花が咲いていた (g)。

3月18日 40cm以上あるアメフラシが潮だまりにいた (c)。

3月19日 調査のため笠島に上陸。天神島のものより大きなマツバガイ、ヒザラガイなどを確認した。ウメボシイソギンチャクの群落が見られた。オオタカ1羽、カモメ2羽、コチドリ1羽が飛来していた。

3月21日 強い南風のため臨時閉園となった。オオシマザクラが開花していた (h)。

3月26日 1500羽以上のウミネコの群れが笠島から飛び立った。今年初めてツバメを確認した。

3月27日 カミクラゲが見られた (c)。ハシボソガラス、トビの巣を確認した (h)。

3月28日 オオキンカメムシの越冬個体を多数確認した (g)。

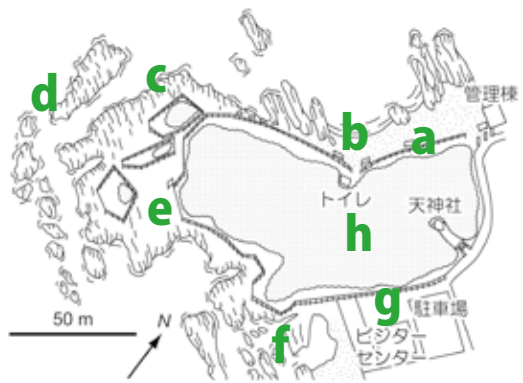
4月3日 昨年台風で枯れたと思われたハマボウが芽吹いていた (a)。メジロがオオシマザクラの花の蜜を吸っていた。



コチドリ (4/10)

4月4日 笠島にコマッコウ(クジラの仲間)の死体が打上がり、周りにハシブトガラス、ハシボソガラスが群がっていた。

4月10日 夕方、食べ物を探すコチドリが見られた (a)。スジグロシロチョウがハマダイコ



天神島臨海自然教育園およびビジターセンター

ンの花蜜を吸っていた (a)。タブノキが開花していた (h)。フナムシの群れ、カクベンケイガニを今シーズン初めて確認した (c)。

4月11日 流れ着いた流木の中にムネアカアリのコロニーがあった。イソシギ2羽が磯で追いかけていた (f)。

4月15日 潮だまりでヒロウミウシ、セトミドリガイ、シロウミウシが見られた (d)。

4月16日 ホシヅラホンヤドカリを確認した (c)。

4月17日 アゴハゼ、ドロメの稚魚の群れが見られた (c,f)。

4月18日 今年初めてチュウシャクシギが飛来した (d)。

4月20日 夏羽のユリカモメが飛翔していた。

4月23日 今年初めてのキョウジョシギを確認した (d)。

4月24日 今年初めてムナグロ、キアシシギが見られた (d)。チュウシャクシギが40羽群れていた (c)。笠島でクロサギの巣材運びを確認した。トベラが開花した (h)。アサギマダラが見られた (b)。



チュウシャクシギ (4/24)



ムナグロ (4/24)

4月25日 メボソムシクイのさえずりを聞いた (h)。

4月27日 ハヤブサが渡りのシギ類の群れを襲っていた。キョウジョシギ8羽が飛来していた。



トウゾクカモメ (4/29)

4月29日 トウゾクカモメ 1羽が上空を飛翔していた。

4月30日 沖合いでオオミズナギドリ 100羽以上の群れが飛翔していた。カワラヒワが求愛給餌をしていた (h)。

5月1日 センダイムシクイのさえずりを聞いた (h)。ハクセキレイの雄がディスプレイを行っていた (b)。

5月8日 アオスジアゲハがハマダイコンの花の蜜を吸っていた。ハマヒルガオが開花していた (a)。

5月9日 カルガモのヒナ2羽が確認された (e)。そのうち1羽は何かに襲われて園路で死体になっていた。

5月13日 ツバメが水たまりで泥を採集していた (g)。

5月16日 岩場にイソアワモチ、潮だまりにアオウミウシ

が多数集まっていた。コモンウミウシが見られた (c)。潮だまりにアユが泳いでいた (f)。

5月20日 濃霧が発生し視界が100mくらいになった。

5月21日 沖合いでハシボソミズナギドリが見られた。

5月22日 ウバタマムシを確認した (h)。テリハノイバラが開花していた。昨年の台風で枯れたかに見えたハマゴウが芽吹いた (e)。トビの巣でヒナ2羽を確認した (h)。



ウバタマムシ (5/22)

5月23日 イワツバメが水たまりで泥を採集していたがツバメに追い払われた (g)。

5月27日 今シーズン初めてのコアジサシを確認した。ハマオモトヨトウの幼虫を確認した (a)。

5月28日 タツノオトシゴの幼魚を確認した (c)。

5月29日 キヌハダウミウシが見られた (d)。オオバイボタが開花していた (h)。

▶ 展示関連コラム ◀

三浦半島の多彩な野草を紹介した企画展示「三浦半島野の花・山の花」(協力:横須賀植物会)が、6月5日から8月22日まで本館3階特別展示室において開催されています。この企画展示は、生物多様性や地球温暖化など自然環境への関心がますます高まる中、身近な植物に親しんでいただくことを目的に、大楠山や衣笠山、猿島、

企画展示「三浦半島野の花・山の花」

観音崎など三浦半島の主要な植物観賞コースとそこに見られる代表的な草花、横須賀の巨樹・古木、希少植物、帰化植物などを紹介し、野外での植物観賞や自然観察のガイドとなっています。多くの生態写真のほか、横須賀植物会会員による押し葉標本、シダ植物の生品、生地による造花などもご覧いただけます。(大森 記)



展示の様子

▶ 自然教育園イベント紹介 ◀

— 博物館教室 —

1. 植物の観察と分類 (秋の花)

植物のつくりの基本を、秋に花が咲く身近な植物を材料に観察します。また、三浦半島に見られる植物の主要な科や属の分類を紹介します。2010年10/8(馬堀自然教育園)、10/22(大楠山)(各金)の全2回。10:00-12:00(野外10:00-15:00)。対象は中学生以上20名。野外保険料100円。締切:9/24(金)。

— 野外学習・自然観察会 —

1. 森の散歩と昆虫クラフト

秋の馬堀自然教育園を歩きましょう。地面に落ちたどんぐりや枝・葉をひろって、昆虫の形に似せて工作をします。2010年9/26(日)10:00-15:00。馬堀自然教育園。対象は小学生以上20名(ただし、小学生は保護者同伴のこと)。野外保険料50円。締切:9/12(日)。

— 夏休み企画 —

1. 箱めがねで磯の生き物を観察しよう

水中の観察方法のなかでも安全かつ簡易な方法として古くから用いられてきた箱めがねを使って、魚やエビ・カニ、ウニ、ウミウシなど磯の生物観察を行います。2010年7/25(日)10:00-12:00。天神島臨海自然教育園。対象は小学生以上30名(た

だし、小学生は保護者同伴のこと)。箱めがねの無料貸し出しあり。野外保険料50円。締切:7/11(日)。

2. 夜の昆虫かんさつ

昆虫の中には、夜になると活発になるものがあります。こうした夜の昆虫の生活を、海沿いの環境で観察する調査を体験しましょう。2010年8/7(土)17:00-20:30。天神島臨海自然教育園。対象は小学生以上20名(ただし、小学生は保護者同伴のこと)。野外保険料50円。締切:7/24(土)。

— 天神島めぐり —

1. 海浜昆虫と植物

天神島には海岸・草原・林があり、小さな昆虫達にとっては多様な変化に富んだ環境です。園内を歩いて、夏の花々とともにいろいろな昆虫を観察しましょう。2010年8/1(日)10:30-12:00。天神島臨海自然教育園。対象は小学生以上20名(ただし、小学生は保護者同伴のこと)。野外保険料50円。締切:7/18(日)。

2. 天神島の地層

天神島の地層を観察し、三浦半島の生い立ちについて考えます。2010年10/10(日)10:30-12:00。天神島臨海自然教育園。対象は小学生以上20名(ただし、小学生は保護者同伴のこと)。野外保険料50円。締切:9/26(日)。

博物館行事レポート

自然観察会「馬堀・観音崎の地層」

(5月29日・参加者18名)

この観察会では、「地質の日」(5月10日)記念行事として、馬堀自然教育園から観音崎周辺を歩き、地形や地層を観察しました。馬堀～観音崎の地盤を作る地層は三浦層群の逗子層と池子層(820～250万年前)で、その上を大津砂泥部層や走水礫部層、小原台砂礫層(13～10万年前)が覆っています。今回の観察会では、防衛大学へ向かう坂の途中の逗子層と大津砂泥部層の不整合や、横須賀市立野の走水礫部層の露頭、鴨居港東の火山豆石、観音崎公園の乱堆積層、横須賀美術館裏の池子層の露頭などを観察しました。



横須賀美術館裏の地層

三浦半島活断層調査会の皆さんには行事の運営に協力いただき、地層や微化石についてお話していただきました。普段は地層に注意を払って歩くことがない参加者も、地層の縞模様の美しさに感動していたようです。心配された天気もなんとかもち、参加者全員で馬堀、観音崎周辺の地質について楽しく学習しました。(柴田 記)

博物館教室「植物の観察と分類(初夏の花)」

(5月8日・参加者20名)

(5月22日・参加者16名)

今年度の博物館教室「植物の観察と分類」は、初夏から晩秋まで4期に分け、花、花序、果実、種子の4つのテーマごとに、馬堀自然教育園での講義と観察に野外観察会を組み合わせで行っています。その第1回「初夏の花」が、馬堀と葉山の南郷上ノ山公園周辺で行われました。初回の自然教育園では、学習棟で、花の構成要素である萼片、花弁、雄しべ、雌しべの基本的なつくりが解説され、その色や形の多様性を園内の身近な植物を題材に観察しました。22日(土)には、

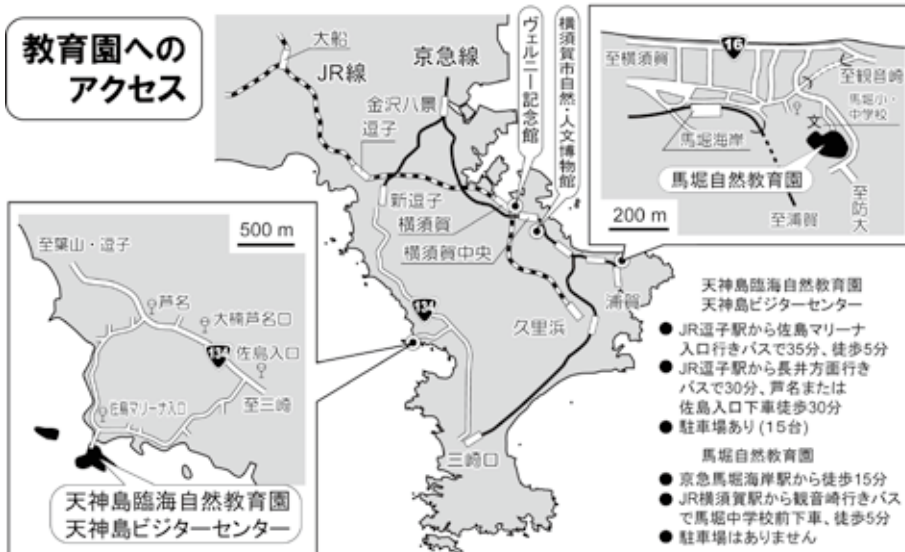
長柄交差点に集合し南郷上ノ山公園を往復するコースで、路傍や雑木林の林内や林縁の植物を観察しました。参加者は、ルーペで初めて見えるコバノタツナミやホトケノザの小さな花の世界に、アヤメやキショウブの、効果的に受粉をするための巧妙な花の作りに、新緑の谷に点々と見られる白く変身した葉が鮮やかなマタタビに、ときに驚きの声を上げていました。(大森 記)



マタタビ
(花の咲く頃に一部の葉が白くなる)

横須賀市自然・人文博物館 附属自然教育園

教育園へのアクセス



馬堀自然教育園

〒239-0802 横須賀市馬堀町4-10-3
TEL 046-841-5727 (FAX 共用)

神奈川県指定名勝・天然記念物 天神島臨海自然教育園

(ビジターセンター)
〒240-0103 横須賀市佐島3-7-3
TEL 046-856-0717 FAX 046-857-5219

博物館本館

〒238-0016 横須賀市深田台 95
TEL 046-824-3688
FAX 046-824-3658

休館・休園日 月曜日・年末年始
開館・開園時間 9:00-17:00
(自然教育園 10～3月は16:30まで)
※2010年7月19日(月・海の日)は開館、7月20日(火)は振替休館です。

博物館ホームページでも、「自然教育園だより」をご覧ください！

(<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/>)